シニア松塚将棋クラブNO１９５

令和３年１０月２８日 詰将棋問題 様

11月次の例会は第１木曜日４日です

詰将棋問題（？手詰）

２問正解を１点に

○ 竜王戦第２局、19歳の藤井三冠が豊島竜王に70手で勝つなんて、強いですね。その竜王戦の大盤解説が仁和寺で開催されましたが、それに設楽さんが参加されました。強い人は何事にも積極的です。

○ NO194詰将棋問題は５名の方から解答が寄せられ**設楽竜王、青田六段、玉置五段、秋山六段、花田四段**の皆さん正解でした。

詰将棋正解者			番付
1	秋山	六段	26
2	設楽	竜王・六段	15
3	青田	六段	11
4	玉置	五段	27
5	柳原	二冠・五段	7
6	花田	四段	18
7	森田	二段	7

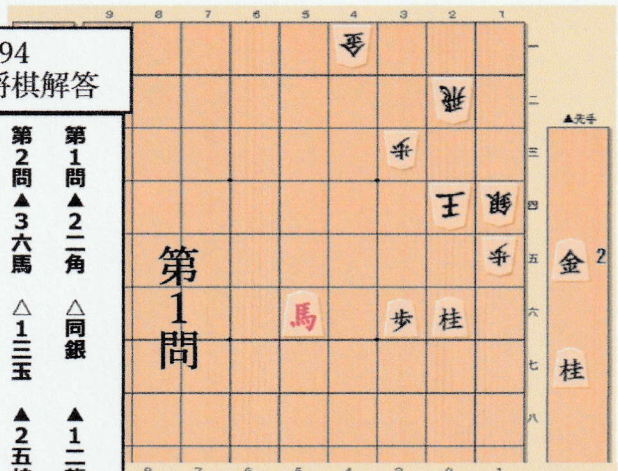
読売新聞記事より玉置さん提供

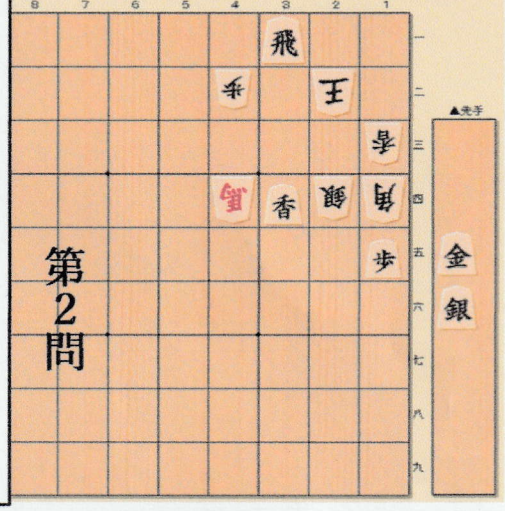
NO194 詰将棋解答

第1問▲2二角 △同銀 ▲1二龍 △同玉 ▲2四桂 △1一玉▲1二香 七手詰

第2問▲3六馬 △1三玉 ▲2五桂 △同龍 ▲3五馬 △同龍 ▲2三飛成七手詰

第3問▲3一角成△2二飛 ▲1四金 △1二玉▲2四桂 △同飛 ▲1三金 七手詰





藤井三冠が連勝

第34期 竜王戦 第2局

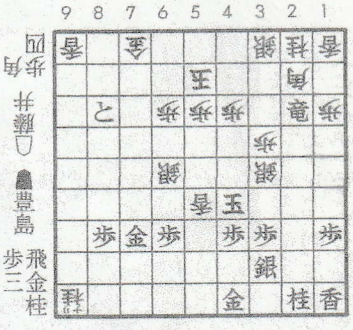
将棋界の最高棋戦で、豊島将之竜王(31)に藤井聡太三冠(19)（王位、叡王、棋聖）が挑戦する第34期竜王戦七番勝負（読売新聞社主催、特別協賛・野村ホールディングス）の第2局が22日から京都市の世界遺産・仁和寺で行われ、23日午後5時10分、藤井三冠が70手で勝ち、シリーズ開幕2連勝とした。

対局は、藤井三冠が1日目からペースをつかみ、攻撃を仕掛ける展開に。豊島竜王は竜を作って攻め合いをめざしたが、△4五桂が最短で先手玉を追い詰める好手。藤井三冠は隙を与えずに快勝し、初の竜王位と史上最年少の四冠へ前進した。対豊島戦（公式戦）は通算10勝9敗になった。

解説の小林裕士七段は「藤井三冠の優れた読みと発想が印象的な一局で、先手にはチャンスが巡ってこなかった」と話した。

第3局は30、31日、福島県いわき市の旅館「新つた」で行われる。

指しかけ図（△9七歩まで）



投了図（△3五銀まで）

投了図以下▲4五玉には△7七角成とされ、先手は攻防ともに見込みがない。